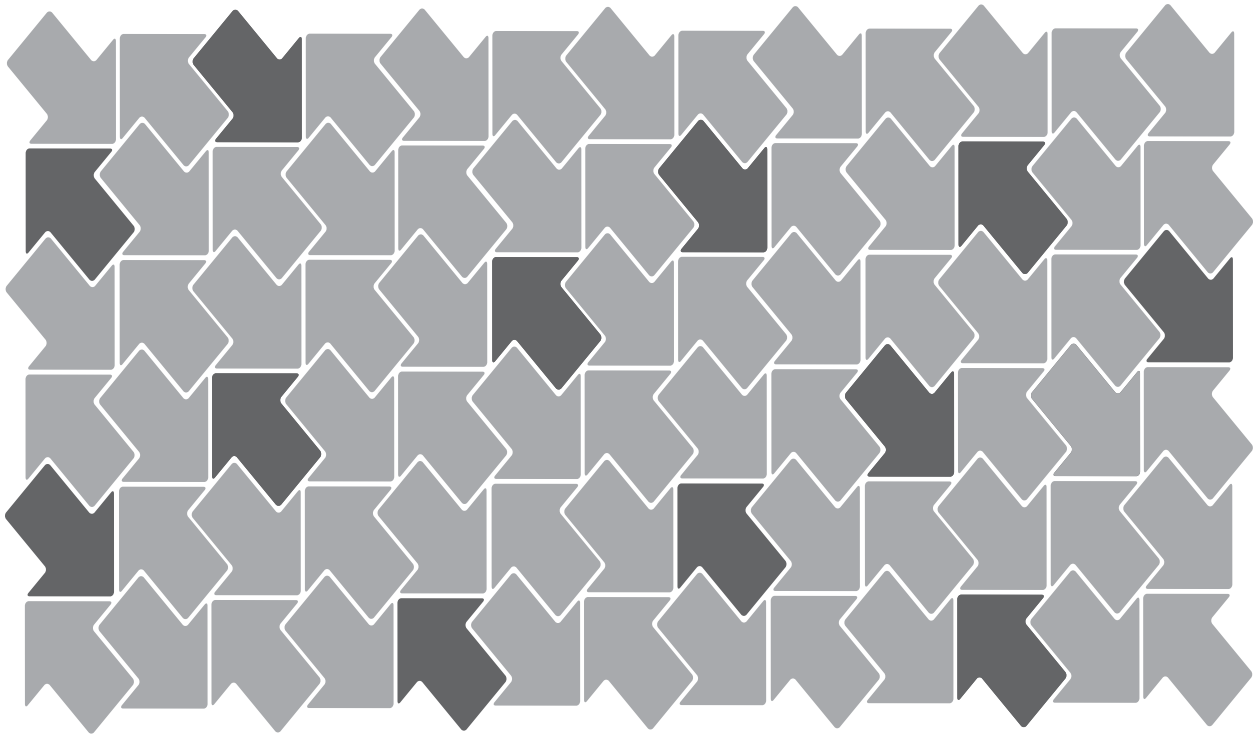


ユーザーマニュアル

VMware 仮想マシンインポータ 1.5



ユーザーマニュアル
Revision: 20060712
Item: VM-JPN-Q306-262

最新情報を反映したテクニカル ドキュメントは、以下の URL にてご覧いただけます。

<http://www.vmware.com/support/pubs>

弊社 Web サイトでは、最新の製品アップデート情報も提供しています。

本ドキュメントに関するコメントがございましたら、以下のアドレスにご連絡ください。

docfeedback@vmware.com

©2006 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。本ソフトウェアは、米国特許 (No. 6,397,242、6,496,847、6,704,925、6,711,672、6,725,289、6,735,601、6,785,886、6,789,156、6,795,966、6,880,022、6,961,941、6,961,806 及び 6,944,699) により保護されています。特許出願中。

VMware、VMware ボックスロゴとデザイン、Virtual SMP 及び VMotion は VMware, Inc. の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

ここに記載されているその他の名称及びマークは各社の商標です。

VMware, Inc.
3145 Porter Drive
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴィエムウェア株式会社
150-6018
東京都渋谷区恵比寿 4-20-3
恵比寿ガーデンプレースタワー 18F

目次

第 1 章 VMware 仮想マシンインポータの紹介	1
VMware 仮想マシンインポータの概要	2
インポータの利点	2
インポータの要件	3
インポータのアプリケーション要件	3
仮想マシンとシステムイメージの入力要件	3
VMware 仮想マシンの出力互換性	3
仮想マシンとシステムイメージ設定への影響	4
第 2 章 VMware 仮想マシンインポータのインストール	5
VMware 仮想マシンインポータのインストール	5
VMware 仮想マシンインポータのアンインストールと修復	7
第 3 章 VMware 仮想マシンインポータの使用	9
第 4 章 コマンドラインから VMware 仮想マシンインポータを 使用	13
第 5 章 インポータのトラブルシューティング	15
インポータのインストールに関する問題	15
インポータインストールウィザードが中断する	15
仮想マシンのマイグレーションに関する問題	15
仮想ハードウェアへの変更	15
7つ以上の PCI デバイスを備えた仮想マシンまたはシステムイメージがイン ポートされない	16
仮想マシンまたはシステムイメージの共有フォルダ設定がマイグレートされ ない	16
Windows NT4 イーサネットアダプタが正常にマイグレートされない	16
クライアントのインパーソネーションが失敗する	16
インポートされた仮想マシンでキーボードまたはマウスが動作しない	16
重複した名前前で仮想 PC ディスクファイルを変換すると、インポータがエラー メッセージを表示する	16
テクニカルサポートリソース	17
追加リソース	17

VMware 仮想マシンインポータの紹介

本章では、次の項目について紹介します。

- [VMware 仮想マシンインポータの概要 \(P.2\)](#)
- [インポータの要件 \(P.3\)](#)

VMware 仮想マシンインポータの概要

VMware 仮想マシンインポータを使用すると、Microsoft® Virtual Server、Virtual PC、及び Symantec® LiveState Recovery のシステムイメージから次の VMware プラットフォームに仮想マシンをインポートすることができます。

- Workstation 5.x 及び VMware Server 1.0
- レガシー仮想マシン (Workstation 4.x、GSX Server 3.x、ESX Server 2.x、ACE 1.x と互換性のある仮想マシン等)

インポータはウィザードで、仮想マシンやシステムイメージの入力を基に完全に新しい VMware 仮想マシンを出力します。新しくマイグレートされた VMware 仮想マシンは、オリジナルの仮想マシンまたはイメージの構成を維持します。

マイグレーションプロセスは非破壊的なので、引き続きオリジナルの仮想マシンを Virtual PC で使用、またはオリジナルのシステムイメージを LiveState Recovery で使用することができます。しかし、新しい VMware 仮想マシンをオリジナルの Virtual PC 仮想マシンまたは Microsoft Virtual Server 仮想マシンと同じネットワークで実行する場合は、両方の仮想マシンが共存しながら正確に動作するように、どちらかの仮想マシンのネットワーク名と IP アドレスを変更する必要があります。

注意	Workstation Verrion 5.5 及び VMware Server 1.0 からは、VMware 仮想マシンインポータの機能は、Workstation 及び VMware Server のソフトウェアに組み込まれています。ですから、Workstation 5.5 及び VMware Server 1.0 にアップグレードした場合は、Microsoft Virtual PC 仮想マシン及び Microsoft Virtual Server 仮想マシン、又は Symantec LiveState Recovery のシステムイメージを VMware 仮想マシンに変換する際、スタンドアロンの VMware 仮想マシンインポータアプリケーションは必要なくなります。
-----------	---

インポータの利点

インポータを使用して既存の Virtual PC 仮想マシン及び LiveState Recovery システムイメージを VMware 仮想マシンに変換すると、次のような利点があります。

- オペレーティングシステムと頻繁に使用するシステム構成のアプリケーションの再インストールの回避
- レガシーマイグレーションの障害の克服 (レガシーシステムには再インストールによる再生ができないものがあります。)

インポータの要件

インポータの要件には次のものが含まれます。

インポータのアプリケーション要件

インポータは、Microsoft Windows NT、Windows 2000、Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2、及び Windows XP Professional オペレーティングシステムで実行します。

注意 インポータは Windows 上のみで動作しますが、マイグレーション後は弊社がサポートするホストプラットフォームに仮想マシンを移動させることができます。

仮想マシンとシステムイメージの入力要件

- システムイメージは Symantec LiveState Recovery からインポートすることができます。
- 仮想マシンは Virtual PC Version 7 以降からインポートすることができます。
- 仮想マシンは Microsoft Virtual Server のいかなるバージョンからでもインポートすることができます。
- Virtual PC の Macintosh バージョンからの仮想マシンはサポートされていません。
- マイグレーションを行う前に仮想マシンをパワーオフする必要があります。サスペンド状態の仮想マシンをマイグレートすることはできません。
- ソース Virtual PC 仮想マシンのオペレーティングシステムは、VMware プラットフォーム (VMware Workstation 4 または 5 等) でサポートされている Windows のゲスト OS でなければなりません (但し、Windows 9x は不可)。サポートされているオペレーティングシステムのリストは、弊社 Web サイト (www.vmware.com/support/guestnotes/doc/index.html) を参照してください。

注意 Windows 9x または非 Windows (Linux、DOS 等) ゲスト OS を備えた Virtual PC 仮想マシンは、たとえインポート先の VMware プラットフォームがそのゲスト OS をサポートしていても、VMware 仮想マシンインポータと互換性を持ちません。

VMware 仮想マシンの出力互換性

- VMware に変換された仮想マシンは、Workstation 4.x、Workstation 5.x、または VMware Server 1.0 で使用できます。

注意 Workstation 4 仮想マシンは VMware GSX Server 3.0、ESX Server 2.x 及び ACE 1.x と互換性があります。

仮想マシンとシステムイメージ設定への影響

インポーターで作成された VMware 仮想マシンには、ソース仮想マシンまたはシステムイメージと全く同じ状態のディスクコピーが含まれますが、一部のハードウェアに依存するドライバとマップされたドライブ文字はインポートされない場合があります。

次の設定は、ソースコンピュータと同一のまま残ります。

- オペレーティングシステム構成 (コンピュータ名、セキュリティ ID、ユーザーアカウント、プロファイル、環境設定等)
- アプリケーションとデータファイル
- 各ディスクパーティションのボリュームシリアル番号

ターゲットとソース仮想マシンまたはシステムイメージは同じ ID (名前、SID 等) を持っているため、両方の仮想マシンを同じネットワークで実行すると競合が生じる場合があります。ソース仮想マシンまたはシステムイメージを再展開する予定があれば、同時にターゲットとソース仮想マシンまたはシステムイメージを同じネットワークで実行することのないように十分注意してください。

Windows 2000 System Preparation Tool (Sysprep) 等のツールを使用して、ID の重複に関する問題を解決することができます。例えば、オリジナル Virtual PC マシンを廃止せずに、Workstation を使用して Virtual PC 仮想マシンを VMware 仮想マシンとして実行可能かをテストする場合、ID の重複問題を解決する必要があります。

マイグレーションの問題に関する詳細は、「[仮想ハードウェアへの変更 \(P.15\)](#)」

VMware 仮想マシンインポータのインストール

この章では、次の項目について解説します。

- VMware 仮想マシンインポータのインストール (P.5)
- VMware 仮想マシンインポータのアンインストールと修復 (P.7)

VMware 仮想マシンインポータのインストール

VMware 仮想マシンインポータは、物理マシンまたは仮想マシンにインストールすることができます。

注意 Workstation の Version 5.5 及び VMware Server 1.0 にはインポータが組み込まれています。これらのアプリケーションがインストールされている場合は、スタンドアロンの VMware 仮想マシンインポータは必要ありません。しかし、スタンドアロンの VMware 仮想マシンインポータ Version 1.5 は Workstation 5.5 及び VMware Server 1.0 と互換性があるので、同じマシンに両方のプログラムをインストールすることもできます。その場合、Windows のコントロールパネルの [プログラムの追加と削除] には、VMware 仮想マシンインポータ 1.5 と Workstation 5.5 及び VMware Server 1.0 が追加されます。仮想マシンインポータのファイルは、インポータと Workstation 両方のアプリケーションをアンインストールするまでそのまま残ります。

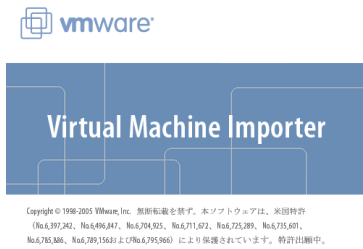
警告：スタンドアロン VMware 仮想マシンインポータ Version 1.0 は Workstation 5.5 及び VMware Server 1.0 と互換性がありません。現在 Workstation 5.5 または VMware Server 1.0 をインストールしている場合、VMware 仮想マシンインポータ Version 1.0 はインストールしないでください。インポータ Version 1.0 は Workstation 5.5 または VMware Server 1.0 上にインストールすることはできません。インポータ Version 1.0 のインストールを試みた場合、Workstation 又は VMware Server 1.0 のインストーレーションにダメージを与え、Workstation 5.5 または VMware Server 1.0 に組み込まれたインポート機能が使用できなくなります。

VMware 仮想マシンインポータのインストールは次の手順に従ってください。

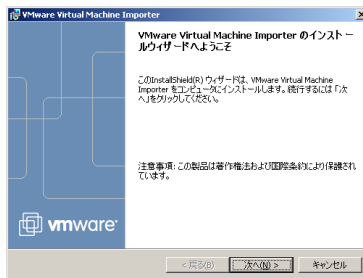
- 1 インポータの要件が満たされているか確認します。詳細は、「[インポータの要件 \(P.3\)](#)」を参照してください。
- 2 VMware 仮想マシンインポータの最新版を入手します。
弊社の営業担当者に問い合わせるか、弊社ウェブサイト (www.vmware.com) を参照してください。

注意 プログラムをコピーし、インストーラをローカルで実行してください。Terminal Services を通してインポータインストーラの実行はしないでください。

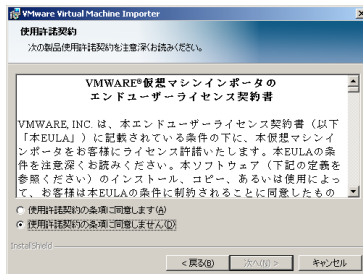
- 3 インストーラを開始する。
インストーラファイルが格納されているフォルダに行きます。
VMware-VMimporter-1.5.0-<xxxx>.exe ファイル
<xxxx> はビルド名を示します。このファイルはアプリケーション CD またはインストーラをダウンロードしたローカルディレクトリに格納されています。
ファイルをダブルクリックします。
スプラッシュパネルが一時的に表示されます。



- 4 インポートインストールウィザードが開きます。[次へ]をクリックします。

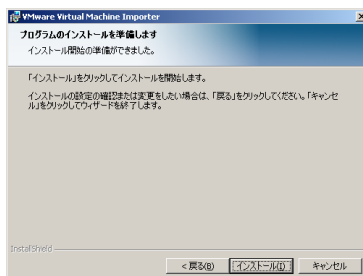


- 5 エンドユーザーライセンス同意書を確認します。



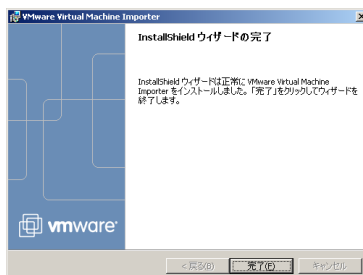
[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ]をクリックします。

- 6 [プログラムインストールの準備ができました] パネルで、[インストール]をクリックします。



インストールの進行状況を示すメッセージが表示されます。

- 7 インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

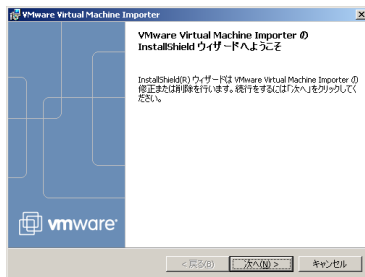


- 8 VMware 仮想マシンインポータを使用する前にシステムを再起動する必要がある場合があります。VMware VMware 仮想マシンインポータのインストールが完了しました。

VMware 仮想マシンインポータのアンインストールと修復

VMware 仮想マシンインポータのアンインストールと再インストールを行うには、次の手順に従ってください。

- 1 VMware 仮想マシンインポータインストーラを開始します。
 インストーラファイルが格納されているフォルダに行きます。
VMware-VMimporter-1.0.0-<xxxx>.exe ファイル
 <xxxx> はビルド名を示します。このファイルはアプリケーション CD またはインストーラをダウンロードしたローカルディレクトリに格納されています。
 ファイルをダブルクリックします。
- 2 インポータウィザードが開きます。[次へ]をクリックします。



- 3 [修正] または [削除] を選択します。



インポータの損傷のあるコンポーネントを確認し、再インストールするには、[修正] を選択します。
 インポータをアンインストールするには、[削除] を選択します。

- 4 行った変更によっては、インストーラがマシンの再起動を指示する場合があります。
 インポータの修正または削除が完了しました。

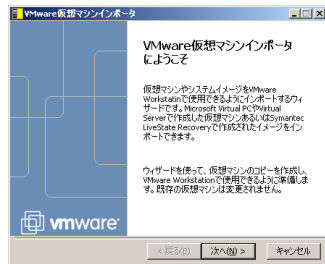
VMware 仮想マシンインポータを使用して、容易な手順で Microsoft® Virtual PC 仮想マシン、または Symantec® LiveState Recovery のシステムイメージから VMware 仮想マシンを作成することができます。

[Import] コマンドを使用して仮想マシンまたはシステムイメージを変換するには、次の手順に従ってください。

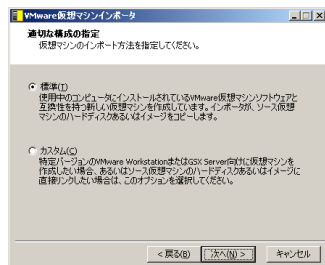
- 1 Virtual PC 仮想マシンをインポートする場合は、仮想マシンがパワーオフされていることを確認します。

注意 Virtual PC 仮想マシンが実行している時は仮想マシンのインポートはできません。

- 2 VMware 仮想マシンインポータを起動するには、Windows のスタートメニューから [すべてのプログラム] - [VMware] - [VMware 仮想マシンインポータ] を選択します。VMware 仮想マシンインポータウィザードが自動的に開始します。開いたパネルで [次へ] をクリックします。



- 3 構成を選択し、[次へ] をクリックします。

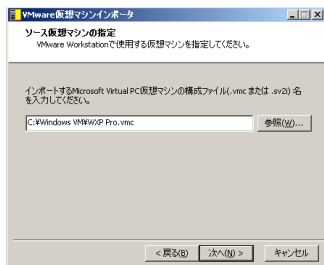


標準 この構成は、ほとんどの使用目的に適しています。

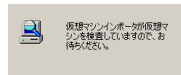
カスタム カスタム構成は次の場合に有効です。

- Workstation 5.x または VMware Server 1.0 を実行しているが、VMware Workstation 4、GSX 3.x、ESX 2.x、または VMware ACE 1.x で使用するレガシー仮想マシンを作成する必要がある場合。
- Workstation 5.x または VMware Server 1.0 を実行しており、ソース仮想マシンまたはシステムイメージの仮想ディスクのコピーを作成したくない場合。ディスクスペースを節約するため等にこの選択を行うことができます。インポートされた VMware 仮想マシンは、ソース仮想マシンまたはシステムイメージの仮想ディスクを使用します。

- 4 ソース仮想マシンまたはシステムイメージを参照 (またはパスを入力) し、[次へ]をクリックします。



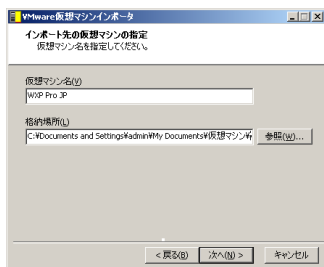
インポーターがファイルを検査します。



注意

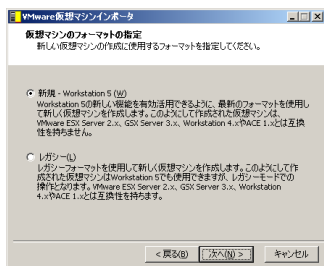
Microsoft Windows 2000 以降を実行しているシステムに Workstation を実行しており、Microsoft Windows NT 4.0 仮想マシンまたはイメージをインポートすると、警告のパネルに、インポートプロセスにより、インポートされる仮想マシンでの NTFS パーティションが NTFS ファイルシステムの新しいバージョンにアップグレードされる旨が表示されます。アップグレードされたファイルシステムは Windows 4.0 と互換性を持ちます。オペレーティングシステムとアプリケーションは通常に機能しますが、chkdsk と defrag を含む Windows NT 4.0 と共にインポートされた一部のユーティリティは正常に機能しません。Microsoft はこの問題にホットフィックス 872952 を提供しています。このような場合のファイルシステムのアップグレードを避けるには、[キャンセル]をクリックしてインポートを終了し、Window NT を実行しているコンピュータからインポーターを実行して仮想マシンまたはイメージのインポートを行ってください。

- 5 VMware 仮想マシンを格納する場所を参照、または入力し、[次へ]をクリックします。



ステップ 6 と 7 はカスタム構成を選択した場合の手順です。ステップ 3 で標準構成を選択した場合は、ステップ 8 に進んでください。

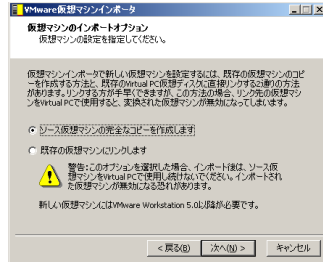
- 6 仮想マシンのフォーマットを選択します。



- Workstation 5.x または VMware Server 1.0 のみで仮想マシンを使用する場合は、[新規]を選択します。
- Workstation 4、ESX 2.x、GSX Server 3.x または VMware ACE 1.x で仮想マシンを使用する場合は、[レガシー]を選択します。

[次へ]をクリックします。

7 新しい仮想マシンのインポートオプションを選択します。

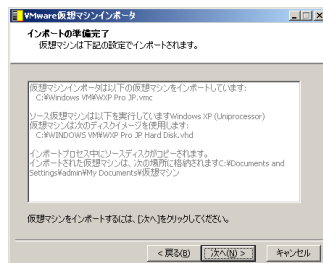


- [ソース仮想マシンの完全なコピーを作成します]を選択すると、オリジナルの仮想マシンまたはシステムイメージに依存しない VMware 仮想マシンが作成されます。
- [既存の仮想マシンにリンクします]を選択すると、ソース仮想マシンまたはシステムイメージの仮想ディスクを共有する VMware 仮想マシンが作成されます。ステップ 6 でレガシー仮想マシンを選択した場合、このオプションは無効になります。

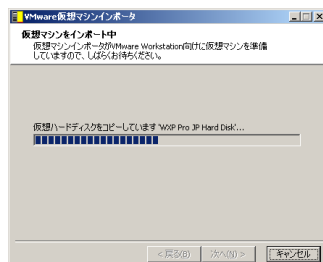
注意 PC 仮想マシンで既存の仮想マシンにリンクするように選択した場合、Virtual PC でオリジナルソース仮想マシンを開くとインポートされた仮想マシンが無効になる場合があります。

[次へ] をクリックします。

8 設定を確認します。変更を行うには [戻る] をクリックします。次に進むには、[次へ] をクリックします。



仮想マシンインポータがソース仮想マシンまたはシステムイメージから VMware 仮想マシンを作成します。



プログレスバーが表示されます。インポートを停止するには、[キャンセル] をクリックします。

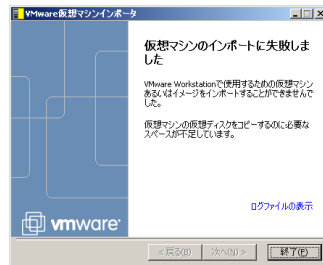
注意 インポートプロセスは、マイグレートされる仮想マシンのディスクスペース 1 GB につき 1 分以上掛かる場合があります。

仮想マシンのインポートが完了すると、ウィザードが完了のパネルを表示します。



- 9 [終了]をクリックします。

マイグレーションが失敗した場合、ウィザードのパネルに、「失敗したマイグレーションのログファイルを表示するには、[ログファイルを表示]をクリックしてください。」のようなメッセージが表示されます。



コマンドラインから VMware 仮想マシンインポータを使用

Windows のコマンドから仮想マシンまたはシステムイメージをインポートするには、次の構文を使用します。

```
v2vapp [sourceVMimagepath] [targetVMname] [targetVMpath] [options]
```

以下は使用可能なオプションです。

オプション	名前	解説
-a	(auto)	マイグレーション後に仮想マシンを起動する。
-f	(fast)	仮想マシンまたはシステムイメージの仮想ディスクを共有する。 このオプションを使用するには Workstation 5 が必要です。
-lxxx	(log)	ログファイルを xxx に書き込む。

本章ではインポータに関する既知の問題について解説します。

- [インポータのインストールに関する問題 \(P.15\)](#)
- [仮想マシンのマイグレーションに関する問題 \(P.15\)](#)
- [テクニカルサポートリソース \(P.17\)](#)

インポータのインストールに関する問題

インポータインストレーションウィザードが中断する

インストレーションが中断された旨のメッセージが表示され、インストレーションが失敗する場合があります。

以下の対処方法を試してください。

- インポータを以前にインストールしていないか確認します。
以前にインポータをインストールしている場合は、追加 / 削除プログラムコントロールパネルを使用して削除します。
レジストリエントリから仮想マシンインポータへの参照はすべて削除します。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\VMware, Inc.
- 失敗したインストレーションソースファイルまたはフォルダを Temp ディレクトリから削除するか、インストール中に Temp ディレクトリを他のフォルダに移します。

仮想マシンのマイグレーションに関する問題

仮想ハードウェアへの変更

マイグレーションを行った仮想マシンの構成とデータファイルはソース仮想マシンと同じ場所に格納されているので、ほとんどの変換済みアプリケーションは VMware 仮想マシンで正常に機能します。しかし、基礎となるハードウェアの特性 (シリアル番号、またはデバイス製造メーカー等) にアプリケーションが依存している場合は、アプリケーションは機能しない場合があります。

マイグレーション後にトラブルシューティングを行う時は、次のハードウェアの変更を留意してください。

- マイグレーション後CPUモデルとシリアル番号(アクティブされている場合)が相違する場合があります。それらの番号は VMware 仮想マシンをホストしている物理コンピュータと一致します。
- MAC アドレスと共にイーサネットアダプタが相違します (AMD™ PCNet™ または VMXnet)。各インターフェイスの IP アドレスは個々に再構成する必要があります。
- グラフィックカード (VMware SVGA カード) が相違します。
- ディスクとパーティションの数は同じですが、各ディスクデバイスのモデルと製造メーカーのストリングは相違します。
- プライマリディスクコントローラがソースマシンのものと相違する場合があります。
- 仮想マシン内から利用不可のデバイスにアプリケーションが依存している場合は、アプリケーションは機能しない場合があります。

7つ以上の PCI デバイスを備えた仮想マシンまたはシステムイメージがインポートされない

インポータは6つの PCI デバイスのマイグレーションのみをサポートしているので、7つ以上の PCI デバイスを備えた仮想マシンまたはシステムイメージをすべてインポートすることはできません。

対処法 インポータで仮想マシンまたはシステムイメージをインポートする前に、デフォルトのオーディオコントローラまたは必要でない他の仮想 PCI デバイスを削除します。

仮想マシンまたはシステムイメージの共有フォルダ設定がマイグレートされない

インポータは共有フォルダのマイグレーションはサポートしていません。

対処法 マイグレーション後に VMware 仮想マシンの共有フォルダを再度作成する。

Windows NT4 イーサネットアダプタが正常にマイグレートされない

仮想マシンまたはシステムイメージに AMD PCnet-PCI II 互換のイーサネットアダプタがない場合、正常にマイグレートしない場合があります。

対処法 Windows NT4 仮想マシンをインポートした後に、新しい仮想イーサネットアダプタをインストールし、その後 VMware Tools をインストールする。

クライアントのインパーソネーションが失敗する

.vmc または .sv2i ファイルを選択した後、ウィザードが終了し、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

Failed to impersonate client before deleting drive letter.

対処法 現在のところありません。

インポートされた仮想マシンでキーボードまたはマウスが動作しない

仮想マシンまたはシステムイメージを VMware にインポートした後、マウスとキーボードが新しいマシンで動作しない。マウスとキーボードはゲスト OS では使用できませんが、BIOS では使用可能です。

対処法 仮想マシンをリセットする。

重複した名前で作成された仮想 PC ディスクファイルを変換すると、インポータがエラーメッセージを表示する。

インポートプロセスの間、インポータはすべての Virtual PC ディスクファイルを同じターゲットフォルダに書き込みます。Virtual PC 仮想マシンにパスの異なる同じ名前の仮想ディスクファイル (*.vhd) がある場合、重複した名前で作成されたターゲット仮想ディスクを移動先フォルダに書き込もうとすると、インポートプロセスは失敗します。VMware 仮想マシンインポータウィザードの完了パネルが次のメッセージを表示します。

The Virtual Machine Importer encountered a problem while copying the disks of the source virtual machine

ログファイルが次のエラーメッセージを表示します。

The file already exists.

対処法 各ソース .vhd ファイルにそれぞれ固有の名前を使用します。

- 1 Virtual PC Console で、名前変更を行うディスクを削除します。(ハードディスクの値を [なし] に設定します。)
- 2 削除したディスクに対応する .vhd ファイルの名前を変更します。
- 3 Virtual PC Console で、名前変更したディスクファイルを追加します。
- 4 Virtual PC Console を閉じます。

これで、すべてのディスクの変換は正常に行われます。

テクニカルサポートリソース

VMware 仮想マシンインポート実行中に問題が生じた場合、弊社 Web サイト (www.vmware.com/requestsupport) のサポートリクエストフォームを使用して、サポートリクエストを提出してください。

追加リソース

その他の情報に関しては、次のサイトを参照してください。

VMware Web サイト www.vmware.com

ログケース問題に関する Web サイト www.vmware.com/support

新機能のリクエストに関する E メールアドレス V2V@vmware.com

研修サービスに関する E メールアドレス education@vmware.com

テクニカルサポートに関する Web サイト www.vmware.com/support

コンサルティングサービスに関する E メール consulting@vmware.com

インデックス

C

CPU **15**

L

LiveState Recovery システムイメージ **2**

N

NT4 **16**

NT4 イーサネットアダプタ **16**

P

PCI デバイス **16**

S

Symantec

LiveState Recovery システムイメージ **2**

T

Terminal Services **5**

V

Virtual PC

サポートバージョン **3**

ソース仮想マシン **9**

要件 **3**

W

Workstation

サポートバージョン **3**

あ

アンインストール **7**

い

イーサネットアダプタ

仮想マシンインポート **15**

仮想マシンインポートでのマイグレーション **16**

インストール

仮想マシンインポート **5**

う

ウィザード

中断 **15**

お

オーディオコントローラ **16**

か

仮想ハードウェア **15**

仮想マシン

出力容量 **3**

仮想マシンインポート

アンインストール **7**

インストール **5**

共有フォルダの設定 **16**

コマンドライン **13**

削除 **7**

修復 **7**

要件 **3**

き

キーボード **16**

共有フォルダ

インポートでマイグレートされない設定 **16**

く

グラフィックカード **15**

さ

削除 **7**

サポート **17**

サポートファイル **17**

し

修復 **7**

せ

製品の紹介 **1**

て

ディスク **15**

テクニカルサポートリソース **17**

と

トラブルシューティング **15**

インストールの中断 **15**

ふ

プログレス **11**

ま

マウス **16**

よ
要件 **3**

れ
レジストリ **15**